施策評価シート（ 令和4　年度の振り返り、総括）

作成日	令和5 年　04月　07日

施策 No.	38	施策名	開かれた市政の推進
主管課名	秘書広報課	電話番号	0285-83-8100
関係課名	総務課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市民						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
人口（年度末推計）	人	78,144	77,635	77,578			77,789
世帯数（年度末推計）	世帯	29,788	30,079	30,717			30,279

施策の目標	市民に開かれた市政を目指すため、情報公開や市民への情報提供、広聴事業の充実を図り、市民参画による市政に取り組む。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	・市政情報発信の指標として、市民意向調査の「市政に関する情報を得られたと感じている市民の割合」を使用する。 ・市民の市政参画機会の拡充を図る指標として、政策立案に参加している市民の割合を示す「公募委員の割合」を使用する。 ・コミュニティＦＭの活用を示す指標として、週あたりの「行政情報番組の本数」を使用する。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
市政に関する情報を得られたと感じている市民の割合	目標値	%	64.0	66.6	69.2	71.8	74.4	77.0	80
	実績値			62.3	66.1	64.9			
公募委員の割合	目標値	%	24.6	25.5	26.4	27.3	28.2	29.1	30
	実績値			23.4	23.9	22.5			
FMもおかの行政情報番組本数	目標値	本	ー	5	5	5	6	6	7
	実績値			7	7	7			
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民は、行政情報を共有し、積極的に市政に参画する。 行政は、市民が市政に関心を持ち、積極的に参画できるよう適宜、適切な行政情報の発信に努める。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

・市政情報の発信については、各課で発信する情報を広報広聴係で集約し、広報紙、ホームページ、ケーブルテレビ、ＦＭラジオ、ＳＮＳといった各種メディア（記者会見を含む）を使って幅広く、かつ効率的に発信している。令和３年４月から市公式アプリ、令和４年２月からは市公式ＬＩＮＥによる情報サービスを開始しており、それぞれの特性を生かしてより効果的に情報を発信していく必要がある。
・令和５年４月にホームページをリニューアルし、デザインの改修やトップページの利便性向上を図ったものの、下層ページのコンテンツは従来のものが多いため、すべてのページを「市民にとって分かりやすく見つけやすいサイト」に改善していく必要がある。
・ＦＭもおかについては、番組本数を前年と同様に７本放送している。受信用アプリの登録件数も増加しており、一定程度の効果は得られているが、スマートフォンの普及に伴い、リスナーの更なる拡大が期待できるため、ＰＲ等を強化していく必要がある。
・市政参画機会の充実については、附属機関等の委員を公募し、市政に関する政策立案等への参画を促している。しかし、関係団体等からの推薦による充て職が附属機関等の委員を担うことが多い傾向は変わっておらず、公募委員の割合は伸び悩んでいる。
・その他の市政参画機会として、情報公開制度やパブリック・コメント制度、市長への手紙・メール、市長との話し合い事業などを活用して市民のニーズに応えている。自治会が主催する「市長との話し合い事業」については、アフターコロナの状況を踏まえ、再開に向けて各自治会へ働きかけていく必要がある。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

・市政情報の発信については、引き続き各種メディアの特性を生かしながら効率的かつ効果的に情報を発信していく。特に、災害時には迅速かつ正確な情報発信が求められているため、コミュニティＦＭや市公式アプリ等を活用した情報発信の方法をシミュレーションするなど、関係各課との協力体制を強化していく。
・ホームページにおける情報の出し方・見せ方について、情報発信を専門とする民間事業者の支援を受けながら部署ごとに課題を抽出し、個別指導により改善を図っていく。また、改善事例については、庁内掲示板を活用した「ホームページLabo」の発行や全職員対象の研修会を通して情報を共有しながら課題の解決を全課に指示し、改善の進行管理とともに全体のレベルアップを図っていく。そのほか、秘書広報課においては、旬の話題を効果的にＰＲするためのトップページバナー管理、災害やイベントに関する情報を迅速かつ正確に表示するための運用ルール構築、新たなキュレーションページ（複数課で運用する便利なまとめサイト）作成のための連絡調整などを進めていく。
・公式アプリについては、市からの情報が集約されスマートフォンから簡単に情報が得られる手段であるので、ケーブルテレビやウィークリーニュースなどで周知するとともに利用拡大に努める。
・附属機関等の構成員における公募委員の割合を高めるため、所管課等に対して委員の改選時に公募委員を増やすよう働きかけていく。
・ＦＭもおかの番組編成について、サテライト放送（ライブ中継）を活用して各種イベントとタイアップするなど、リスナー拡大に向けた番組を提案していく。
・その他の市民参画機会については、各種媒体を活用して制度の更なる周知を図っていく。また、「市長との話し合い事業」については、感染対策として実施した「手紙による話し合い」や「代表者による少人数での話し合い」を継続しつつ、従来通りの方法で開催できることについて周知を図っていく。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和4 年度実績	今後の方向性
1		広報事業	秘書広報課広報広聴係	市民の情報入手方法／広報もおか		79.9	事業のやり方改善
				市民の情報入手方法／WNもおか		20.2	事業のやり方改善
				市民の情報入手方法／市HP		27.0	事業のやり方改善
				市民の情報入手方法／ケーブルテレビ		10.5	事業のやり方改善
				市民の情報入手方法／FMもおか		6.7	事業のやり方改善
2		広聴事業	秘書広報課広報広聴係	市長との話し合い開催回数（手紙版を含む）	回	1	現状維持
				市長への手紙・メール受理件数（手紙＋メール）	件	87	現状維持
				パブリック・コメント実施件数	回	2	現状維持